

## —爽やかな日が続く 新緑のまぶしい頃—

5月上旬の立夏を迎えると暦の上では夏が始まりますが、まだ気候は穏やかで、木々の緑は初々しく、吹く風が爽やかな日が続きます。

旧暦の5月は皐月と呼ばれます。由来は諸説ありますが、雨期に入り田植えが始まる頃を表す「<sup>さなえ</sup>早苗月」が略されて皐月となったとされる説が有力とされています。

このほかにも「雨月」や「月見ず月（五月雨で月が見えないことから）」などの異名もあります。

## 【八十八夜】——5月2日頃（旧暦3月下旬頃）——

八十八夜は、立春から数えて88日目にあたる日のことをいいます。この日から3日後には「立夏」を迎えるため、昔から夏の準備を始める日とされてきました。

「夏も近づく八十八夜～」と唱歌にも歌われているように、この頃は茶摘みが最盛期を迎えます。古くから八十八夜に摘み取られたお茶は軟らかくて質がよいと言われ、古くから神仏に供え、目上の方に差し上げる習わしがありました。

## 5月の四字熟語 <sup>とうこうりゅうりよく</sup>【桃紅柳緑】

美しくさまざまな色彩に満ちた春の景色。  
紅の桃の花と、緑の鮮やかな柳の葉の意。



## 5月の本「植物図鑑」 有川 浩／著

お嬢さん、よかったら俺を捨ててくれませんか。咬みません。躑のできたよい子です。

思わず捨ててしまったイケメンは、家事万能のスーパー家政夫のうえ、重度の植物オタクだった。樹という名前しか知らされぬまま、週末ごとにご近所で「狩り」する風変わりな同居生活が始まった。とびきり美味しい(ちょっぴりほろ苦)“道草”恋愛小説。



発行：幻冬舎 場所：ティーンズコーナー（W 71）

参考文献：「絵でつづるやさしい暮らし歳時記」日本文芸社

：「新明解四字熟語辞典 第二版」三省堂

# 5月

2023年 *teen's* 季節のカレンダー